

高専通信

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE



新入生へ贈る言葉

各副校長ご挨拶

新留学生紹介

卒業生・修了生へ贈る言葉

令和4年度進路状況

トピックス

2023年6月発行

苫小牧工業高等専門学校

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係
[URL] <https://www.tomakomai-ct.ac.jp> [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

新入生へ贈る言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これまで暖かく支えてくださったご家族の皆様方、本日は誠にありがとうございます。

ここに、令和五年度 苫小牧工業高等専門学校入学式を挙行し、新入生を迎えられること、教職員一同、心よりうれしく思います。

今年度は、創造工学科第一学年入学生 二百三名、第三学年入学外国人留学生 二名、創造工学専攻第一学年入学生 三十三名、合計二百三十八名を迎えることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で、勉強に打ち込むことが難しい状況乗り越えて、本日の晴れの日を迎えられたこと、本当におめでとうございます。

苫小牧工業高等専門学校は、昭和三十九年、一九六四年四月に設置され、五十九年の歴史を有します。昨年度は高専制度が始まって六〇周年を迎え、高専教育のさらなる高度化に向けた様々な取り組みがありました。現在、全国には五十一の国立高専があり、約五万人の学生が最先端工学を熱心に学んでいます。高専は五年間で大学卒業に匹敵する高いレベルの専門教育を行う学校です。さらに二年間の専攻科では、一層高度な専門教育と先端研究に取り組み、大学卒業と同じく学士の学位を授与されます。

創造工学科に入学される皆さんは、一日も早く専門教育を受けたいと心待ちにしていることでしょう。一年生の期間には、授業や学校行事を通じて様々な専門分野の特徴を知ることができます。教員や先輩のアドバイスにしっかりと耳を傾け、自分に適した専門分野を見つけてください。また、本校は全国高専に先駆けて文部科学省の数理・データサ

イエンス・AI教育プログラムの認定を受け、DX人材の育成にも力を入れています。加えて、半導体工学に関する教育の高度化に関する国立高専全体での取り組みにも実践校として参画しています。高度な専門科目を理解するためには、幅広い基礎科目の深い知識が必要となります。特に一年生で学ぶ基礎科目の十分な理解が大事ですので、予習や復習を行う学習習慣をしっかりと身に付けてください。

これからの高専での日々は、決してすべてが順調ではなく、難しい勉強に苦勞をし、クラブ活動の厳しさに耐え、友人関係に悩むこともあるかと思います。しかし、そのすべてが立派な技術者として社会で活躍するための準備であり経験となります。分からないことなどは一人で悩まずに、担任または他の教職員に遠慮なく相談してください。本校には、皆さんを支援する様々な取組がありますので、積極的に活用してください。そして、高専における多様な学びと活動を通じて、自分自身の社会力の向上に励んでください。

苫小牧高専の教育理念には、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」とあります。教職員一同、皆さんの学びをしっかりとサポートしますが、皆さん自身の学び続ける姿勢が一番大事です。

皆さんが楽しく充実した学生生活を送り、最後には全員が揃って卒業・修了の日を迎えられることを願っています。

令和五年四月五日

苫小牧工業高等専門学校長 小林幸徳

在校生からのメッセージ

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学校、寮での新生活にも慣れてきたでしょうか？

この5年間で皆さんには沢山の出会いが訪れます。友達、先輩、後輩、先生。これらの出会いは皆さんの学校生活を充実させ、悩んでいる時や辛い時は皆さんの支えになります。人とのつながりを大切に5年間を過ごしてください。

そして、挑戦を続けてください。興味のあること、部活、学校行事など、興味があることは一度やってみてください。友達や先生からの誘いに乗ってみてください。苦手だと思って避けている事も、やってみたら案外ハマるということもあります。これらの経験が皆さんの価値観や考え方を刺激し、学びへ繋がるはずです。

5年間は長い。そう思っていました。仲間との刺激的な毎日を楽しんでいると、あっという間に5年生になってしまいました。皆さんの学生生活が楽しく、実りあるものになるよう、心から願っています。5年間を全力で楽しんでください！

5年1組 今 優花



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

高専は他の高校と違い5年間あるため長いように思えますが、実際はあっという間です。もちろん勉強も大切ですが、部活や学校行事に積極的に参加し、普段の高専生活も友達とたくさん楽しんでください！

私たち都市・環境系では主に橋やコンクリート、道路など構造物を作る上で必要な知識や技術を中心に学びます。実習では外に出て測量をしたり、コンクリートの破壊試験など、身体を動かして班のメンバーと協力しながら作業します。系選択によって今後の就職先も変わってくるので、先生方や先輩にたくさん聞いて、自分に一番合う系選択をして欲しいです。

卒業後は進学や就職で友達となかなか会えなくなってしまうので、高専生活でたくさんの思い出を作り、全力で楽しんで欲しいです！これから勉強や部活など大変なこともあるかもしれませんが、何か不安なこと・知りたいことがあったら気軽に先輩方に聞いてください！皆さんが充実した高専生活を送れるよう応援しています！

5年2組 梅林美伶



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんはこれから、一般科目に加え専門的な勉強をしていきます。皆さんの中には、将来就きたい職業を決めて入学した方、まだ決めていない方がいるかと思いますが。2年生になると系選択があります。系選択は4年間の学習内容だけでなく将来の進路に関係する重要な選択となります。なので、1年生のうちに先輩の話や、どのような職業に就くことができるか調べて考えておくことで決めるやすくなります。

応用化学・生物系では、材料から食品、衛生など幅広い化学について学ぶことができます。さらに、4年生のコース選択で、食品・バイオコースと機能材料コースの2つに分かれており、より専門的な勉強に取り組むことができます。そのため、目指せる職業の幅も広く、実験が好きな方や、白衣を着た研究者になりたい方にお勧めの系となっています。

苫小牧高専は5年制の学校です。長いように思えますが、あっという間です。皆さんの高専生活が有意義なものになることを心から願っています。

5年3組 高橋 爽



ご入学おめでとうございます！みなさんは高専にどんなイメージをお持ちでしょうか？入学してから良くも悪くもギャップを感じることもあると思います。1年目はあまり専門的な授業はありませんが、創造工学という授業ではプログラミングの授業や各系の体験など行っています。そういった機会で自分の「好き」を明確にし、2学年への系配属の参考にするといいでしょう。

高専に入学したのなら、部活動に入ることをおすすめします。仲間との絆を深め、高専の生活をより充実したものにすることができそうです。また、就職活動の面接において話のネタになりますので積極的に参加しましょう。私はロボットテクノロジー部に所属しています。ロボットテクノロジー部では、NHK高専ロボコンに参加し優勝を目指し日々活動しています。もちろん未経験者大歓迎です！

勉学と課外活動を両立し楽しい学生生活を送りましょう！電気電子系で待ってます！

5年4組 谷口 諒吾郎



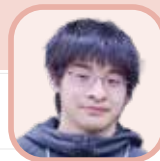
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高専という新たな環境には慣れてきたでしょうか？

最初の1年間は、基礎を習得するとともに、各系への理解を深め、その後の4年間で自分が専攻する系を選択する大切な期間です。将来自分がやりたいことや興味がある分野をじっくり考えて悔いのない系選択をしてください。

情報科学・工学系では、プログラミングや通信、情報システムの他に、コンピュータの構成要素やその仕組み、電子回路の基礎など、幅広い技術を身に付けていきます。情報科学・工学分野は進歩が激しく、様々な技術が存在します。それらを身に付けて開発することは本当に楽しいです。

高専では、やりたいことができる機会や環境が充実している上、先生や先輩方も非常に協力的です。積極的に話してみてください。高専での5年間は長いようであっという間です。今を大切に頑張ってください。勉強だけでなく、部活動や学校行事など、高専での生活楽しみましょう。学食はおいしいです。

5年5組 岡田航季



第1学年担任からのメッセージ

1年生の皆さん、高専生活を楽しんでいますか？だいたいが高専生活にも慣れてきた頃だと思いますが、90分の授業やその内容の難しさに慣れるのにはまだまだ時間が必要かと思いますが、しかし、今皆さんが勉強していることは、将来きっと役立つので、戸惑うことがあっても地道に学んでいってほしいと思います。

1年生のクラス担任教員をここで改めて紹介します。1組は金野先生（担当教科:数学）、2組は山下先生（担当教科:物理基礎、英語）、3組は佐藤先生（担当教科:英語）、4組は時田先生（担当教科:国語）、5組は



多賀（担当教科:保健体育）です。皆さんと共に学んでいけたらと考えています。

ぜひこの1年時のクラスを大切にしてください。皆さんが2年生になり各系に配属された後は、5年生までクラスのメンバーは変わりません。その時に、他の系にも友達がいることは、必ず皆さんの財産になるはずです。1年間仲良く、そして互いに切磋琢磨して頑張ってください！

今年度より学生主事を務めさせていただくことになりました佐藤森（応用化学・生物系）です。学生主事補の高澤幸治先生（機械系）、松尾優子先生（都市・環境系）、多田光宏先生（総合人文科学系）とともに、課外活動、各種行事の企画・運営、学生会行事の補助などの業務を行い、本校の学生が充実した高専生活が送れるような学校環境づくりを目指していきます。また、学生の窓口となる学生課、保健室、相談室などの部署と協力・連携しながら、皆さんをサポートしていきます。

昨年度は、コロナ禍でも可能な限りの対策を行いながらいくつかの大きな行事を行いました。その中で学生の皆さんの工夫で新たな試みも多数できました。本年度は感染症対策がかなり緩和され、課外活動や多くの学校行事が従来の形に戻ることが予想されます。ここで新たな時代がきたと捉え、学生の皆さんと協力し、様々なアイデアを出しながら充実した学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。学生の皆さんならびに保護者の皆さまのたくさんのご理解とご協力が必要となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副校長（学生主事） 佐藤 森



GREETINGS

各副校長 ご挨拶

今年度より寮務主事を務めます機械系の池田慎一です。寮務主事補の奥山先生（電気電子系）、鈴木先生（総合人文科学系）、藤田先生（応用科学・生物系）および酒井先生（都市・環境系）とともに、寮生活全般の指導を行ってまいります。4月4日に、新入寮生68名（1年生男子50名、1年生女子16名、男子留学生2名）を迎え、今年度の学生寮は男子寮228名、女子寮66名、計294名の寮生でスタートしました。

本校の学生寮は通学困難な学生の就学を支援することを目的とすると同時に、集団生活を通して多くの仲間とともに様々な経験を得ることのできる貴重な場であると考えております。新入寮生の多くは親元を離れ、学生寮での新しい生活に戸惑うことが多いと思いますが、その一方で、寮生活を通じてかけがえのない経験を得ることができるものと考えております。現時点でコロナの脅威が完全に収まっておりますので、本校学生寮における対応の一環で、引き続き寮生および保護者にお大変なご不便とご迷惑をおかけするものと思います。一日でも早く普段の生活に戻ることを信じ、寮生、保護者の皆様をはじめ関係各位におかれまして、もうしばらくの間ご理解とご協力をお願いします。

副校長（寮務主事） 池田慎一



今年度も副校長（総務主事）・創造工学科長を務めます平野博人（応用化学・生物系）です。総務主事としては、点検評価、広報、施設・防災、国際化の推進及び国際交流、将来計画と多岐にわたる事項について担当いたします。総務主事補の大西孝臣教授（情報科学・工学系）、石川愛弓准教授（総合人文科学系）とともに円滑な業務遂行に努めます。

今年度は、中断していた国際交流事業の活性化を図ります。タイ・カセサート大学、ニュージーランドEIT並びに香港THEiなどへの学生派遣研修を推進。また、マレーシア技術者教育機関教員の本邦研修、タイ高専教職員の本邦研修を本校で実施します。学生、教職員共に国際感覚を磨き、全学的に国際交流活動に取り組みます。

種々の教育システムの点検評価、防災対策や施設設備改善の計画立案など、学生、教職員が安心して勉学や仕事に励むことができる環境整備にも努め、今後も創造性・探究心豊かな人材を輩出できるよう、教職員一同全力で支援してまいります。

保護者、同窓生、地域の皆様におかれましては、今後とも本校の教育改革並びに教育活動へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副校長（総務主事） 平野博人



今年度4月より副校長（研究主事・専攻科長）を務めます情報科学・工学系の稲川清です。2023年度の専攻科は創造工学専攻に改組されて3年目を迎えます。創造工学専攻は機械系、都市・環境系、応用化学・生物系、情報エレクトロニクス系の4系から構成されており、それぞれの系に先端専門コース（例えば先端機械コース）と先端フロンティアコースが設けられています。専攻科に在籍する2年間には、一般科目や専門科目などの講義の他に、学外研修やマネジメント演習／アントレプレナーシップ演習（共同教育）といった実務体験ができる演習系科目や、2年かけて研究成果をまとめる特別研究など、地域連携や創造（ものづくり）を体験しながら、リーダーシップやコミュニケーション能力を養成するプログラムが用意されています。また、専攻科学生は本科4、5年に加えて、これら2年間の教育課程を修了することで、4年生大学卒業と同等の学士の資格を取得することができます。

新型コロナウイルスによって通常とは異なる対応を迫られていた状況も、少しずつ緩和されつつある中、副専攻科長の小藪米太郎准教授（機械系）、甲野裕之教授（応用化学・生物系）ならびに全教職員の協力のもと、専攻科学生のさらなる学びの充実、学びの機会の確保に努める所存です。今後ともご理解・ご協力を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

副校長（研究主事・専攻科長） 稲川 清



今年度より教務主事を拝命しました松田奏保（総合人文科学系）です。教務主事補の近藤崇教授（都市・環境系）、佐々木幸司准教授（電気電子系）、中村嘉彦准教授（情報科学・工学系）と共に、本校の教育環境がより良いものになるよう尽力して参ります。

時代の変化とともに、高専に求められる役割も大きく変化してきています。そうした中、本校では、IoTやAI、データサイエンスなど時代に沿った知識や技術を身につけ社会課題の解決に貢献できる人材の育成、また日本国内に限らず世界で活躍するための国際性や、自ら課題を見つけ分析し解決できる汎用的能力の育成など、社会の変化に対応した教育改善に積極的に取り組んでいます。今後も、これまで長年培ってきた高専教育を基礎に置きつつ、学生の未来を見据えながら教育の充実を図る努力を継続して参ります。保護者、地域、同窓生の皆様におかれましては、今後とも本校の教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副校長（教務主事） 松田奏保



新任教員ご挨拶

令 和5年4月から都市・環境系に着任しました鳥田宏行と申します。日本に八つある海なし県の一つ、群馬県の出身です。札幌市で学生時代を過ごして以来、気が付けば30年以上の時を北海道で過ごしており、北海道は第二の故郷となりました。これまで道内の研究機関で研究を続けていましたが、この度は縁あって苫小牧高専にお世話になることになりました。私の研究分野は、自然災害のメカニズムの解明やその被害を防止または軽減することを目的とした自然災害科学・防災工学です。北国特有の雪氷災害、台風災害、土砂災害など、多岐にわたる自然現象を研究対象としてきました。2011年に発生した東日本地震津波以後は、海岸地域の津波防災に焦点をあてて研究を進めて

います。自然は、人類に恵みを与えてくれる半面、時に多数の人命を奪うような災害も引き起こします。その意味で自然は中立であり、人間の思惑を考慮することはありません。地球規模の環境変動が大きくなりつつある現在、人が生きていくための持続的な生活環境を確立するには、自然と人との関係性を根本から考え、行動することが重要です。是非、学生のみなさんと共に考え、学んでいきたいと思います。

都市・環境系
准教授
鳥田宏行



今 年度から電気電子系の助教に着任しました、大澤拓門です。私は北海道の南、函館市出身で、函館高専の本科・専攻科を卒業・修了しております。高専を出てからは北海道大学の大学院に進学し、修士号を取得、現在博士課程に在籍する学生の身分を有しながら教員をさせていただいております。場所は違っても高専出身ですし、まだ学生ということもありますので皆様の気持ちがよく理解できるかな、と考えております。また、高専生時代にはロボコンに出場しており、ものづくりが好きな人間です。高専の教員になったからにはいろいろ作ぞ、と意気込んでおります。

専門分野は電力システム工学で、ざっくり言うと再生可能エネルギー電源（太陽光や風力発電など）の導入拡大のための研究を

やっております。「カーボンニュートラル」だとか「水素エネルギー」などがキーワードになってくると思います。また、最近では災害時の電力供給、特に胆振東部地震のような大規模停電時でも自立して電気を使えるようなシステムにも興味があります。

これまでの内容でどれか一つでも興味がある、あるいは新任の先生に絡みたいなどがあれば、ぜひ話をしに来てください。いつでも歓迎です。よろしくお願いします。

電気電子系
助教
大澤拓門



令 和5年4月より、国語担当教員として総合人文科学系に着任いたしました、河野友哉（かわのともや）と申します。

札幌に生まれ、（幼少時に2年間だけ大阪に住んでいましたが）そのまま札幌の高校・大学を卒業しました。文学部で国文学の研究室に所属していました。大学院博士後期課程の頃から道央圏の公立高校で国語科教員として勤務しており、昨年度は札幌新川高校で働いていました。

日本の漢文学が専門分野です。漢文と言うと、中国の文物と思われるかもしれませんが、かつて日本人も漢文を読み書きしていました（中学・高校で習う、いわゆる「訓読」はその産物です）。国語の学習ではとかく苦手意識を持たれがちな漢文ですが、日

本の文学史・思想史に与えた影響は計り知れません。そうした、日本文化史上の漢文の意義について、その一端でも学生の皆さんと共有できる機会があれば幸甚です。

高専の生活について、慣れないことが多く色々ご迷惑をおかけしてしまう場面も少なくないと思います。ですが、一刻も早く職場に慣れ、苫小牧高専の学生さん・保護者さんのために教育・校務・研究に注力していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

総合人文科学系
講師
河野友哉



本 年度より総合人文科学系の地理歴史科担当の講師として着任しました野村雄紀と申します。生まれは釧路で、小学校から高校までについては、室蘭で過ごした2年間を除いて主に札幌で育ちました。そして、北海道大学文学部で4年間を過ごした後に神戸大学大学院に進学し、イタリアのヴェネツィア大学・ポーロニャ大学にそれぞれ約1年間留学していた期間を除いて、約10年間を関西で過ごしました。

私の専門分野はヴェネツィア共和国の歴史です。「海の都」として地中海商業で栄えた都市国家のイメージが強いヴェネツィアですが、15-18世紀には広大な領域を支配する国家の首都として立法・行政・司法の各分野で制度を整えていきます。こうした首都ヴェネツィアの変化を、ヴェネツィアの支配下に入りつつも強固な自治意

識・対抗意識を保つ地方都市との間の対話や紛争の展開の中で捉えていく作業を進めてきました。

現在の高専出身者の就職先や勤務地は世界中に広がっています。学生の皆様が世界に羽ばたく時に役に立つように、地理および歴史の両科目を通して世界の諸地域に関する知識や現在の国際社会のあり方・基本理念が成立してきた過程と一緒に学んでいきたいと考えています。まだ不慣れな部分も多いですが、今後とも何卒よろしく願い申し上げます。

総合人文科学系
講師
野村雄紀



新／留／学／生／紹／介

皆さん、始めまして!新留学生のリアンチワストーン・タニンラットと申します。ニックネームはフランクです。タイのバンコクから参りました。

去年まで1年間、東京にある東京日本語教育センターで日本語を勉強し、創造工学科応用化学・生物系に入学しました。

卒業するまでの3年間、一生懸命頑張っていきたいと思っています。また、日本の文化に触れ、価値のある経験をし、できる限り楽しく過ごしたいです。日本の習慣に慣れたり、日常会話などで日本語を勉強して日本語検定を取得して日本語がうまくなりたいです。

苫小牧に来る前は不安な気持ちや心配なことがありましたが、入学後は授業や寮生活を順調に送れています。実験や体育の授業で今までやったことがない経験ができています。先生方やたくさんの友達は温かく接してくれます。授業で分からないことがあったら優しく教えてくれたり、分からない日本語があったら丁寧に説明してくれます。

将来のことはまだ想像できませんが、タイと日本の間で役に立つ仕事をするつもりです。

高専では日本人の友達をいっぱい作りたいです。見かけたら声をかけてくれればとても嬉しいです。

分からないことがたくさんあると思いますが、よろしくお願いします。



3年3組
リアンチワストーン
タニンラット

3年5組

ソンバングアイ
サップタウン



タイから来た留学生のサップと申します。タイ高専で2年間勉強し、創造工学科情報科学・工学系の第3学年に留学生として入学しました。

タイ高専に入学してから、ずっと日本語を学んできました。最近、日本語能力試験の2級を受けましたが、残念なことに、不合格でした。しかし、僕はまだ諦めずに、日本語能力試験の2級に合格するため、勉強を続けます。

初めて日本で生活することには、大変なことやまだ慣れていないことがたくさんありますが、新しい生活では、外国人の友達と話したり、初めての経験をすることで、日本での生活はすごく面白くなってきました。

中学生のときに、普段使っている物のほとんどが外国製、特に多くの自動車は日本製であることに気づきました。それはなぜだろうと疑問が生じ、日本に興味を持ち始めたことが、日本に行きたいと思ったきっかけです。

その後、日本のアニメである「鬼滅の刃」や「君の名は」を見てすごく感動し、日本により深く興味を持つようになりました。

どのような技術を使ってこれらの美しいアニメーションや曲ができるのか?どのような考え方でこの素晴らしい話ができるのか?

これらの疑問は、日本という国と日本人を理解できれば、答えが見つかるだろうと思い、日本に留学することを決めました。

日本での生活はとても大変です。これからもっと苦しいことが待っているかもしれません。ですが、日本の生活を楽しみ、色々な経験ができるのは素晴らしいことだと思います。

僕は日本に留学ができ、とても嬉しいです。これからもよろしくお願いします。

学生会の紹介

学生会は、対面式や学生総会の資料作成をはじめとする企画・進行、高専祭や体育大会などの行事における企画・運営が主な仕事です。その他にも、皆さんが楽しく過ごしやすい学校を作るための様々な活動をしています。

この数年、新型コロナウイルスの影響で中止や縮小になっていた行事も、規制緩和により元の形に復活しつつあります。過去のデータや経験が必要になる中、元の形を知らない後輩も皆さんに楽しんで貰えるように精一杯活動してくれています。学生会最大の行事である高専祭も中止になった年もありましたが、昨年度は来場者を迎える事ができました。せっかく一度元の形が無くなったのですから、プラスに捉えて1からシステムを再構築し直し、より良い新しい高専祭を作りたいと思っています。

誰一人置いていかれずに全員で楽しむ事ができる行



事を、総務や体育委員会と協力して作ることができる1年にします。そのためには、皆さんの意見などが必要不可欠になりますので、ご協力お願いします。1年間よろしくお願いします。

学生会長 5年3組 金子快斗

卒業生・修了生へ贈る言葉

本科卒業生ならびに専攻科修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

また、これまで暖かく支えてくださったご家族の皆様方、心よりお慶び申し上げます。

本校の卒業生は、これまでに八千三百名を超えており、皆さんもその一員として加わることになります。また、専攻科は四百二十名を超える修了生がいて、広い分野で活躍されています。

本科卒業生の皆さんは、創造工学やフロンティアコースなど、特色あるカリキュラムでの学びがありました。皆さんが、将来どのような活躍をするのか、教職員はもとより、諸先輩も大変に期待されています。専攻科修了の皆さんは、創造工学専攻としては最初の修了生となります。皆さんは高い専門性に加えて分野を横断する幅広い知識を身に付けており、変革の時代を牽引する技術者として活躍することを確信しています。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、今年度は皆さんと協力しながら体育大会や高専祭を新しい方式で実施することが

できました。皆で困難な状況を乗り越えようと取り組んだ経験は、学生生活の貴重な一ページとなったことと思います。本日は多くのご家族の皆様を会場にお迎えし、卒業証書、修了証書を一人一人に手渡すことができました。これは、ワクチン接種率の向上や新しい行動様式の普及によるものではあります。互いを思いやり、社会全体が規律ある取組を持続できているからだとも言えます。

昨年初めから世界情勢は混迷を極め、その影響は経済活動だけではなく教育の場にも及んできています。皆さんの今後の活躍の場は、間違いなくグローバル社会となります。共に学んだ留学生の出身国はもとより、世界中の人々が安心して豊かな時を過ごせるように、高い志を持った技術者・研究者として一層成長することを期待しています。高専での日々は、皆さんのこれまでの人生のおよそ四分の一の時間となります。これから何倍もの長く輝かしい未来が待っている皆さんではあります。最も多感な十代の後半を過ごした本校における経験は、今後の人生に

おける苦難を乗り越える力となることと思います。

本校の教育理念には、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」とあります。これからもこの理念を胸に、自ら進んでさまざまな課題に取り組んでください。将来何か難しい課題にぶつかったときに、恩師である先生たちは必ずや皆さんにとって良きアドバイザーとなることでしょう。高専の門戸は卒業生・修了生にも開かれていますので、気兼ねなく訪ねてください。私たち、教職員一同、社会で活躍している皆さんと再会できることを楽しみにしています。

これからの未来社会を築くのは皆さんたちの世代です。皆さんのさらなる成長を願っています。

令和五年三月十七日

苫小牧工業高等専門学校長 小林幸徳

VOICES of Graduates 卒業生・修了生からの言葉

贈る言葉

電気電子系卒業生 矢野巧実



高専での5年間は想像していたものよりはるかに短く、実りのあるものとなりました。新型コロナウイルスの影響で中止になってしまった学校行事もありましたが、この苦小牧高専という環境にいたからこそコロナ禍であっても多くの出会いや経験を積むことができました。

部活動では多くの仲間と出会い、切磋琢磨した日々、徹夜をしたこともあったレポートや課題、クラス一丸となって力を合わせた学校行事、大変なこともたくさんあり間違えることも悩むこともたくさんありましたが、たくさんの人たちに支えられて最後までやりきり、これらすべてが私を大きく成長させてくれました。また、この5年間で多くの良き友人に出会うことができました。入学当初は自分の内向的な性格もあり不安がありましたが、クラスメイトや部活動の仲間、同じ趣味で知り合った友人など本当に多くの出会いに恵まれました。在校生の皆さんも長いようで短い5年間の経験と出会いを大切にしてください。

最後に、この5年間支え続けてくれた家族、共に歩んでくれた仲間たち、お世話になった先生方に心より感謝申し上げます。

贈る言葉

機械系卒業生 高橋涼太



私が入学した当初、「これから5年間か、長いな」と感じていたのですが、卒業した今、改めて振り返ると、あっという間の5年間だったなと感じています。

思い起こしてみれば日々の課題やレポート、研究など多忙な毎日を送り、困難にぶつかることもありましたが。この高専での5年間は決して平坦な道のりではありませんでした。しかし高専での出会いが私の大きな支えとなりました。ユーモアに富み、いつも笑わせてくれた友達、趣味が合い思わず話し込んでしまう友達、卒業研究で頼りになり、様々なアドバイスをくれた先生方。皆さんがいたからこそ私の5年間は光り輝くものとなりました。在校生の皆さんも友人達との出会いを大切に、有意義な学校生活を過ごす事ができるよう祈っています。

最後になりますが、5年間支えてくださった家族、共に励ましあい最高の時間を共有してくれたクラスの皆、学習や研究でお世話になった先生方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

贈る言葉

情報科学・工学系卒業生 大山拓海



入学前には5年間という時間は非常に長いと思っていました。しかし実際に入学してみると、「もう卒業か」と思ってしまうほどあっという間に時間が過ぎていたように感じます。レポートや研究に追われる忙しい日々も、友人と共に時に遊び、時に技術を高め合うような時間も、私にとってはかけがえのない思い出です。

在校生の皆さんは5年間という時間を無駄にしないためにも、趣味や部活、勉強、研究など、何か夢中になれるものを見つけ、全力で取り組んでみてください。やりたいと思ったことはどんどん挑戦してみてください。そうして過ごした経験や身につけた技術は、必ず今後に活きてきます。高専生活を振り返ったときに、楽しかったと思えるような思い出になることを願っています。

高専で過ごした5年間は、私にとって宝物のようなものです。この貴重な経験を胸に、私たちはこれからも常に挑戦し続け、成長し続けていきます。最後に、この5年間で共に過ごした友人たち、そして指導していただいた先生方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

5年もいたっけ?

都市・環境系卒業生 山口真弥



はじめに、5年間お世話になった先生方、高専生活を共にした同級生や先輩、後輩たちに感謝申し上げます。ありがとうございました。

5年間で振り返ってみると、本当にあっという間に時間が過ぎ去っていったように感じます。入学してからまずは寮生活と学校生活に慣れるところから始まりました。生活環境が変わり苦勞することも多々ありましたが、部活や遊びなど、どれも充実していたように感じます。ちなみに不真面目だと思われるのも困るので勉強も頑張っていましたと、一応書いておきます。

在校生の皆さんはこれからの毎日を心残りがないように過ごしてください。部活で忙しいから、今日は面倒くさいからといって友達からの遊びの誘いを断らないでください。また、頭のいい人とは絶対に仲良くなり、機嫌を取りましょう。それだけで勉強の効率が上がります。

最後になりますが、皆さんが高専でより多くの思い出を残し、今後の人生の糧となることを願っています。

駆け抜けた高専7年間

創造工学専攻 情報エレクトロニクス系修了生 安沢友花



高専で過ごした本科と専攻科の7年間は、受験からサポートしてくれた家族、勉学のみではなく悩み事についても親身になって相談に乗っていただいた先生方、そして、辛いときも楽しいときも一緒に過ごしてくれた友人のおかげで乗り越えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

新入生の頃は高専生活がとても不安で、入学式の日に実家から遠く離れた苦小牧で慣れないスーツに身を包み、緊張と気疲れとで顔が強張ったまま家族と写真を撮ったことを思い出します。今の私も、道外で技術者として新しい生活が始まろうとしているので少し不安を感じていますが、これまで周りの人から支えられながらも高専で頑張ることができた自分自身を信じて、新しいことにも全力で力を注ぎたいと思います。

最後に高専通信を読んでいる皆様に贈りたい言葉は、高専生活での友人や先生との思い出はかけがえのない宝物になり、一緒に困難を乗り越えることで鍛えられた精神は自分の自信に繋がります。人とのつながりを大事にして日々の生活を楽しんでほしいと思います。

相対性理論

応用化学・生物系卒業生 徳樂実生



小学生の途中で転校を経験した私にとっては、これまでの人生の中で最も長く通った学校が苦小牧高専でした。しかし卒業してみると一瞬のことだったように思えます。特に系配属後の2年生以降は、好きだった化学の実験が色々できて、クラスメイトも雰囲気比較的近い人たちが集まっていたので話せる人が沢山いました。また、クラスメイトでもそれ以外でも仲の良い友人が何人もできました。その上、良い先生方にも恵まれました。本当に幸せなことです。

アインシュタイン曰く、「可愛い女の子と1時間一緒にいると、1分しか経っていないように思える。熱いストーブの上に1分座らせられたら、どんな1時間よりも長いはずだ。相対性とはそれである」だそうです。困ったものですね。

最後になりましたが、入学から卒業まであっという間だった私の高専生活に関わってくださった全ての人々に感謝を申し上げたいと思います。そして、もしも再び出会えた時にはよろしくお願ひいたします。



卒業式 写真



卒業生保護者

からの言葉

夢や希望に向かって

創造工学科機械系卒業生／三木尚人
《父》三木智仁

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

これから皆様はそれぞれ就職や進学などへ進み、それぞれが違う道を歩んでいくこととなり、夢や希望を叶えるため今後も様々な困難や苦勞をする場面があると思います。これも自分自身の夢や希望を実現させるための試練です。社会に出ると学校では学ばなかったことや人間関係を含め多くのことを経験することでしょう。これらの事が自分を成長させる糧になります。また、時には一人で解決出来ない課題もあると思います。そんな時は一人で抱え込まず周りの仲間や家族などからアドバイスをもらうように心がけ、ストレスを貯めないよう心掛けることで気持ちがポジティブになります。

5年間の高専生活を振り返ってみると、1年生の入学した時期は「無事に5年間勤まるのか」と不安がありましたが、無事に卒業できたことで安心しました。ここで学んだ専門的な授業や多くのレポート作成など苦勞したことは必ず社会で役立つので自信をもって今後の進路に向かっていただきたいと思います。最後に各担当の先生方や職員の皆様、5年間ありがとうございました。

自分の人生を大切に

創造工学科情報科学・工学系卒業生／田邊蒼真
《母》田邊智子

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

5年前に入学された時は、まさかこんな学生生活になるとは思いませんでしたね。

楽しみにしていた、修学旅行や工場見学やインターン、そして目標にしていた留学も、ちょうど世界的な新型コロナウイルスの流行にあたってしまいなくなってしまいました。偶然とはいえここまで影響が及ぶとは親としてなんて可哀想なんだろうと思っていました。でも、そんな中でも孤独や不安に押しつぶされることなく、相変わらずのマイペースで自分たちなりの友人とのつながりを楽しみながら、淡々と日々過ごしていたように思います。何人かの友達でチャットをしながらグループの課題に取り組んでいる様子などは私の学生時代では考えられなく、今を生きる器用な若者たちがまぶしく、そして頼もしく感じたこともございました。高専を卒業してすぐに社会人として社会に飛び出していくみなさん、そして更なる専門知識の習得のために進学するみなさん、どちらもどうぞ自分の人生を思う存分楽しんでください。そしていつまでも自分の世界や興味を大切に、笑顔で駆け抜けていかれることを祈っております。

退職教員からのご挨拶

退職雑感

あ っという間の38年間でした。多くの思い出の中でも特筆すべきはやはり研究室での卒業研究・特別研究です。総勢126名の研究室出身の学生とともに楽しい(学生諸氏には辛かったかも?)時間を過ごしました。高専に着任後の数年間は合成実験を行うための実験室作りに没頭する毎日でした。夜遅くまで学生と共に合成実験を実施しました。予定の反応時間で終わることができずに時に深夜にまで及ぶこともありました。学生と共に学会での研究成果発表も楽しかった思い出です。研究室出身の学生から11名にも及ぶ博士、16名の修士、15名の学士を輩出できたことは大きな喜びであり、また優れた学生諸氏に恵まれた教員生活であった証です。改めて研究室出身の学生諸氏には感謝申し上げます。無能な教師で何も学生に指導できずとも、学生は育ってくれました。小説家の開高健の言葉です。「大いなる日は終わりました。円(環)は完全に閉じました。」が環化重合の研究者であった今の心境です。



応用化学・生物系
嘱託教授

橋本久穂

退職挨拶

3 月末で定年退職となりました。卒業生、在校生、保護者、教職員の皆様には大変お世話になりました。前職より本校に赴任してから36年間、様々な思い出があります。特に印象に残っているのは、八戸開催の全国高専体育大会で、バドミントン部が北海道初の団体優勝を果たしてくれたことです。当時は、今とは異なり学生は22時頃まで毎日練習をし、実験レポートも体育館で執筆するなど、とにかく頑張っていました。私も学生から多くの元気をもらった気がします。さらに授業での学生との関わりの他、有珠山の噴火、東日本大震災、北海道胆振東部地震など、寮生が多い本校においてその都度学生やご家族が無事か心配していた日々が思い出されます。また、多くの卒業生が企業の第一線で、あるいは研究者として活躍する姿を目の当たりにし本当に嬉しく思います。これからは、学外から本校学生、卒業生の活躍を応援したいと思います。皆様、本当に長い間ありがとうございました。



情報科学・工学系
特任教授

三河佳紀

退職にあたって

19 89年の本校着任から34年、前任校を含めると40年の教師生活に幕を下ろすことになりました。この間、延べ8,000人以上の授業を担当したことになります。中には親子2代で担任するという不運に見舞われたご家庭もありました。

本校着任時に第2体育館で行われた始業式の「新任教員紹介」で、マイクを使わず、地声で自己紹介して呆れかえられました。以来、大声だけが取り柄の教師(もともと、学生さんだけではなく、教職員からも「歩く騒音口害」と揶揄されてきましたが)としてこの学校にお世話になってまいりました。

自身の教師生活を振り返ってみても、ただただ「チャカチャカ」と騒々しく学校を掻き乱し、また、この数年は本校の新しい流れに全く対応できない時代遅れの教師になってしまい、学生や教職員の皆さんに迷惑を掛けてしまいました。

最後になりますが、学生の皆さんのこれからの人生に幸多きことを、また、本校がますます発展しますこと祈念し、挨拶とさせていただきます。



総合人文科学系
嘱託准教授

坂下俊彦

お別れの前に

お 別れにあたって、みなさんに贈りたい詩があります。それは、吉野弘の「祝婚歌」という詩です。どうぞ耳をすませて聞いてください。

二人が陸まじくいるためには／愚かでいるほうがいい／立派すぎないほうがいい／立派すぎることは／長持ちしないことだと気付いているほうがいい／完璧をめざさないほうがいい／完璧なんて不自然なことだと／うそぶいているほうがいい／二人のうちどちらかが／ふざけているほうがいい／ずこけているほうがいい／互いに非難することがあっても／非難できる資格が自分にあったかどうか／あとで／疑わしくなるほうがいい／正しいことを言うときは／少しひかえめにするほうがいい／正しいことを言うときは／相手を傷つけやすいものだと／気付いているほうがいい……

私の声は届いたでしょうか。字数が限られているので、私の朗読はここまでです。この先は、みなさん自身でこの詩を探し、声に出して朗読してください。

読み終えて顔を上げたとき、みなさんの世界が明るく輝いて見えることを願っています。

それではどうぞお元気で。さようなら。



総合人文科学系
嘱託教授

蓼沼正美

北海道、苫小牧、そして高専

山口百恵がナビ役を務めるTVドキュメンタリで、国内ラストランとなる室蘭本線SL列車が勇払原野を疾走する姿を目にして突如、大学は北海道へ行こうと思い立ったのが高校3年の秋(将来まさか勇払平野の片隅で職を得るとは思いも寄らず)。22歳の時に苫東地域の地質調査アルバイトで沼ノ端の旅館に1週間逗留したのが、当時の苫小牧との唯一の接点。しかし酒と山登りとバイトに溺れた大学生は一旦、本州へ撤退。その後の紆余曲折を経て9年ぶりに北海道へ高校教師として「Sターナー」(名古屋→北海道→東京→北海道)。

縁があって苫小牧高専に着任し早や26年。日々の英語授業や担任業務(計16クラス)、9度の卓球全国大会遠征と2度のNZ語学研修引率(写真は那时的もの)など、概ね充実感を持って教員生活を送ることが出来たのは幸いです。お世話になった教職員の皆様、そして前途洋々な学生諸君には、今後も良き人生の旅を続けられるよう願っております。



総合人文科学系
特任准教授

堀登代彦

こころざし高く持して♪

19 85年に大学院を出て本校に赴任してから38年間、応用数学・数学などの教育や色々な校務に携わってきました。「終わり良ければ全て良し」ですが、教員生活の最後に教職員他の皆様にきちんとご挨拶する機会が持てなかったのはコロナ禍とはいえ大変残念でした。

着任当時、マラソン大会や樽前山の全校登山では教職員も学生と一緒に汗を流し、学校にもゆとりがありました。学生も教職員も校歌を歌えるのが当たり前でした。その後、法人化あたりから何やら忙しくなり、2014年に開校50周年を迎える節目には本校の教育を一から見直すことになりました。ちょうど教務主事・総務主事などを務めながら約4年かけて創造工学科への改組を進めましたが、その第一歩は教育理念の設定でした。学校から社会への約束といえる本校の教育理念は、当時の学生・教職員の意見に加えて校歌に謳われている精神でできています。

最近あまり歌われなくなったのが残念ですが、校歌は本校のスピリッツといえます。「こころざし高く持して♪」校歌がまた大事にされる日が来ることを願っています。



総合自然科学系
特任教授

中野渉

学会賞・高専賞受賞者一覧

高専賞

都市・環境系……………新田佳祐

特別功労賞

機械系……………草光花純

機械系……………下間英史

都市・環境系……………秋山尊

都市・環境系……………田端紗来

応用化学・生物系……………田中叙多郎

応用化学・生物系……………中川友紀菜

電気電子系……………堀井翔太

学会賞

日本機械学会畠山賞

機械系……………石田大也

全国高専土木工学会

都市・環境系……………築山寛大

日本化学会北海道支部賞

応用化学・生物系……………飯島心

電気学会北海道支部長賞

電気電子系……………宇野慎太郎

情報処理学会北海道支部工業高等専門学校奨励賞

情報科学・工学系……………谷野俊介

精密工学会北海道支部学生奨励賞

創造工学専攻……………藤井友祐

学生課からのお知らせ

本校の学生課は、担当する業務によって4つの係に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者等の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して、「担当係（担当者）に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもあります。担当係（担当者）ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。また、学生の呼び出しや伝言等の取り次ぎについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。



教務係

〔直通電話〕
0144-67-8001

- 授業、試験に関すること
- 休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- 在学証明書、成績証明書、卒業証明書などの学生の諸証明に関すること
- 学生証の申請に関すること
- 担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡



寮務係

〔直通電話〕
0144-67-8002
〔学生寮教員当直室〕
0144-67-8024
(夜間緊急用17:00~8:30)

- 学生の入寮及び退寮に関すること
- 寮費の徴収など諸経費に関すること
- 緊急の場合の外泊の連絡



学生係

〔直通電話〕
0144-67-8032

- 奨学金（日本学生支援機構等）に関すること
- 入学料、授業料の免除等に関すること
- 学生の保健管理（カウンセリングの申込等）に関すること
- 学生の課外活動、行事等に関すること
- 学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること
- 就職、進学（大学への編入学試験等）に関すること



図書係

〔直通電話〕
0144-67-8905

- 図書の閲覧、貸出しに関すること
- 学術文献の収集及び提供に関すること
- ノートパソコンの貸与に関すること
- その他学術情報センターに関すること

グローバルセミナー報告

4年1組 真木丈士朗



私は春季休暇中に函館高専が主催したグローバルセミナーに参加しました。道内4高専と世界5カ国の学生が参加し、より良い社会を作るために解決すべきことをグループでディスカッションし、英語で発表しました。

期間中は基本オールイングリッシュで会話し、伝わらない部分があれば工夫して伝える努力をすることができました。どのようにしたら伝わりやすいのかを考えながら行動するのが非常に難しかったです。部屋が相部屋だったため海外の文化や歴史を知るきっかけにもなりました。

これからのグローバルな社会の実現に向けて非常に大事な行事に参加することができ本当に良かったです。一週間が非常に短く感じるほど、親交を深めることができたので最終日函館を離れる時はとても寂しくなりました。参加した学生とのSNS等の交流も続け、語学力向上に努めていきたいと強く感じました。これからの苫小牧高専の国際交流にも積極的に参加していきたいです。

4年1組 中村真緒



私は3月5日から1週間、函館高専で行われたグローバルセミナーに参加しました。このセミナーでは、モンゴルやシンガポール、タイなどの様々な国の学生と英語でコミュニケーションを取り、環境問題への対策を考えました。私たちのチームは実際にタイで行われている対策をもとに新しい燃料を考案しました。話し合いを通して、普段の授業では学ぶことのできない生きた英語に触れられた貴重な時間でした。

そしてセミナー後は、皆で日本ならではのスポットを巡り、文化交流を図りました。日本の文化と他国の文化の違いに触れることで自分の視野がさらに広がり、新たな視点をもつことができました。

他国の学生と交流する上で、相手の発音がうまく聞き取れない、伝えたいことをうまく言葉にできないなどの様々な壁がありました。しかし、交流を諦めない気持ちや、ジェスチャーで伝えるなどの工夫により、海外に多くの友達ことができました。これからは友達と更に交流を深めるため、今まで以上に英語の勉強に励みたいです。



本校フロンティアコースの学生が ビジネスプランコンテストで「優秀賞」を受賞！

2月25日(土)開催の「第3回学生ビジネスプランコンテスト」(札幌学院大学社会連携センター主催)に本校フロンティアコース5年生の池田真樹さん(機械系)、菅原葵さん(電気電子系)、能代谷柚凪さん(情報科学・工学系)、山口翔太さん(情報科学・工学系)のチーム「Zoppi」が出場し、「優秀賞」を受賞しました。

第一次審査を通過した本チームは、「次世代型の中小規模飲食店向けのお客様用注文アプリと食材発注支援システム」というテーマの下、中小規模飲食店が容易に活用できる次世代型のお客様用注文アプリと在庫量を抑制できる食材発注支援システムのビジネスプランについてプレゼンを行いました。審査は「発想(アイデア)、新規性、実現性、市場性、熱意」の5つの基準で行われ、審査員の方からは、今後の研究の発展に繋がる建設的な素晴らしいコメントを頂きました。



本校学生がパワーアカデミーの第5回電気工学教材企画コンテストで 最優秀賞を受賞しました。

パワーアカデミーが開催した第5回電気工学教材企画コンテストにおいて、本校電気電子系5年の岡本昂大さん、堀有羽さん、矢野巧実さん、森口陽向さん、専攻科2年の両角燎さん、専攻科1年の工藤真咲さん、赤塚元軌准教授が「手回し発電機を極める～電圧と電流で学ぶ電気工学の基本～」の作品タイトルで応募し、最優秀賞を受賞しました。

3月15日(水)に授賞式が行われ、「興味を惹く工夫が多く感じられた。手回し発電機により、手の感触で電流(負荷)を感じられる点がおもしろい。」などの高い評価を受けました。

本コンテストは、高等専門学校本科生、高等専門学校専攻科生、大学生、大学院生が自らの視点・着眼点で、電気工学に関連したテーマに沿った中学生向けの教材企画を考え、その企画作成・成果活用検討を通して、「電気工学の魅力」や「電気工学を学ぶ楽しさ」を習得することを目的としており、今回は「電圧と電流」をテーマとして実施されました。



令和4年度本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況について

令和4年度卒業生進路状況						
系	機械系	都市・環境系	応用化学・生物系	電気電子系	情報科学・工学系	合計
求人社数	503	414	390	552	489	2,348
卒業生数	男 32	35	23	28	23	141
	女 4	10	11	4	6	35
進学者数	男 12	14	11	10	8	55
	女 2	5	5	1	0	13
企業等	男 20	17	10	17	14	78
	女 1	5	5	3	6	20
公務員	男 0	4	0	0	0	4
	女 0	0	0	0	0	0
進学先	弘前大学 長岡技術科学大学 (3) 豊橋技術科学大学 (2) 琉球大学 はこだて未来大学 京都芸術大学 苫小牧高専専攻科 (5)	北海道大学 (2) 室蘭工業大学 (3) 北見工業大学 長岡技術科学大学 (3) 群馬大学 埼玉大学 岐阜大学 豊橋技術科学大学 (2) 苫小牧高専専攻科 (5)	長岡技術科学大学 (3) 宇都宮大学 豊橋技術科学大学 (3) 愛媛大学 苫小牧高専専攻科 (8)	室蘭工業大学 長岡技術科学大学 苫小牧高専専攻科 (9)	はこだて未来大学 東京都市大学 苫小牧高専専攻科 (6)	
就職先	J-POWERジェネレーションサービス(株) SUBARUテクノ(株) 旭イノベックス(株) 出光興産(株) キリンビバレッジ(株) サントリーグループ ジョンソンコントロールズ(株) 東京ガス(株) 日本貨物鉄道(株) 日本発条(株) フードテクノエンジニアリング(株) フジテック(株) 富士フイルムヘルスケア(株) 村田機械(株) ロイズコンフェクト(株) (株)LIXIL (株)いすゞ北海道試験場 (株)タマディック (株)日立ビルシステム 成田空港給油施設(株) 日本ゼオン(株)	苫小牧港開発(株) (3) 極東興和(株) (2) (株)菅原組 (2) (株)北開水工コンサルタント (2) 伊藤組土建(株) 岩田地崎建設(株) エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株) サンコーコンサルタント(株) 塚田設備管理(株) 東急建設(株) 東京水道(株) 三井化学(株) K (株)アサヒ建設コンサルタント (株)シビテック (株)日水コン (株)メイセイ・エンジニアリング (株)開発工営社 帯広市 技術職 土木 苫小牧市 技術職 土木 平取町 技術職 土木 北海道開発局	(株)フルヤ金属 (2) (一財) 日本食品分析センター (一社) 日本血液製剤機構 DIC(株) NECファシリティーズ(株) 大阪シーリング印刷(株) キリンビール(株) サントリースピリッツ(株) 第一三共プロファーマ(株) 日東電工(株) ニプロ(株) 雪印メグミルク(株) (株)北海道LIXIL製作所 大日精化工業(株)	北海道電力(株) (3) 三菱電機ビルソリューションズ(株)(2) NTT東日本グループ会社 (2) KDDIエンジニアリング(株) 北ガスジェネックス(株) シークス(株) 中部電力(株) トーテックアメニティ(株) 日鉄テックスエンジ(株) 日本オーチス・エレベータ(株) パナソニックオートモーティブシステムズ(株) 浜松ホトニクス(株) (株)NJS (株)カネカ (株)タマディック (株)北海道LIXIL製作所	東海旅客鉄道(株) (2) (一社) 日本血液製剤機構 アイシン・ソフトウェア(株) ウェルネット(株) ウナルステクノロジー(株) ケイセイマサキ建設(株) ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株) 東日本電信電話(株) 王子製紙(株) 苫小牧工場 (株)ヴィッツ (株)シーズ・ラボ (株)テクノラボ (株)ハイマックス (株)ムラタ (メカネのプリンス) (株)北海道ジェイ・アール・システム開発 (株)北開水工コンサルタント 苫小牧ガス(株) 日鉄テックスエンジ(株) 北海道旅客鉄道(株)	

令和4年度修了者進路状況						
専攻	創造工学専攻					
求人社数	522					
修了者数	男 22	進学先	北海道大学大学院 (5) 北陸先端科学技術大学院大学 慶応義塾大学大学院	就職先	大阪シーリング印刷(株) (2) NECネットエスアイ(株) ウェルネット(株) エヌ・ティ・ティ・データ・ソフィア(株) 岡三情報システム(株) サントリープロダクツ(株) シャープマーケティングジャパン(株) ジョンソンコントロールズ(株) ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株) トヨタ自動車北海道(株) 日本電気通信システム(株) 富士通クライアントコンピューティング(株) 富士通クラウドテクノロジーズ(株) 旭化成(株) (株)NTTデータフロンティア (株)ハイマックス (株)三井化学分析センター 三菱電機プラントエンジニアリング(株) 富士電機(株) 札幌市	
	女 7					
進学者数	男 5					
	女 2					
企業等	男 16					
	女 5					
公務員	男 1					
	女 0					

教 育 理 念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学士の 学習目標

- Ⅰ 人間性: 正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- Ⅱ 実践性: 創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- Ⅲ 国際性: 世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

専攻科 学生の 学習目標

- Ⅰ 人間性: 他者と協働し、未来の社会に寄与する、豊かな人間性と教養及び広い視野を身につける。
- Ⅱ 創造性: 工学分野における専門的な知識と経営的知識に加え、複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- Ⅲ 国際性: 地域や国際社会で活躍するための教養とコミュニケーション能力及び相互理解の精神を身につける。

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

国際交流の目的

広く世界の文化について理解し、国際的視野をもって、世界や地域社会で活躍する実践的人材を育成することを国際交流の目的とする。また、教職員の国際感覚を磨き、グローバルかつ先進的な教育・研究を推進する。

人 事 異 動

○令和5年2月28日付

非常勤教職員

【雇用期間の満了】

事務補佐員(村本研究室)	奥 紗 織
技術補佐員(村本研究室)	尾 田 龍 司
技術補佐員(高橋研究室)	高 橋 杏 介
技術補佐員(岩波研究室)	秋 山 七 海

○令和5年3月31日付

教育職員

【定年退職】

創造工学科教授(機械系担当)	當 摩 栄 路
創造工学科教授(応用化学・生物系担当)	古 崎 毅
創造工学科教授(情報科学・工学系担当)	阿 部 司

【辞職】

創造工学科教授(機械系担当)	須 田 孝 徳
----------------	---------

【雇用期間の満了】

創造工学科特任教授(情報科学・工学系担当)	三 河 佳 紀
創造工学科嘱託教授(応用化学・生物系担当)	橋 本 久 穂
創造工学科特任教授(総合自然科学系担当)	中 野 渉
創造工学科嘱託教授(総合人文科学系担当)	夢 沼 正 美
創造工学科特任准教授(総合人文科学系担当)	堀 登 代 彦
創造工学科特任准教授(総合人文科学系担当)	坂 下 俊 彦

事務職員・技術職員

【辞職】

総務課長	佐 藤 規 久
(北海道大学工学系事務部情報科学研究所事務課長)	
総務課課長補佐(財務担当)	野 蝶 敏 洋
(北海道教育大学事務局財務部経理課副課長)	

【配置換】

総務課企画調査係主任	吉 田 洋 介
(旭川工業高等専門学校総務課契約係主任)	

【雇用期間の満了】

特命准教授	井 藤 青 羅
学生課学生係事務補佐員	佐 藤 雪 捺
学生課図書係事務補佐員	濱 野 谷 拓 望

学生課図書係事務補佐員

技術補佐員(岩波俊介教授研究室)

葛 西 音 於

石 川 勇 人

○令和5年4月1日付

教育職員

【採用】

創造工学科准教授(都市・環境系担当)	鳥 田 宏 行
創造工学科講師(総合人文科学系担当)	野 村 雄 紀
創造工学科講師(総合人文科学系担当)	河 野 友 哉
創造工学科助教(電気電子系担当)	大 澤 拓 門

【昇任】

創造工学科教授(機械系担当)	池 田 慎 一
創造工学科教授(電気電子系担当)	工 藤 彰 洋
創造工学科教授(情報科学・工学系担当)	大 西 孝 臣
創造工学科教授(総合人文科学系担当)	佐 々 木 彩
創造工学科准教授(都市・環境系担当)	酒 井 佑 慎
創造工学科准教授(情報科学・工学系担当)	原 田 恵 雨
創造工学科特命准教授(機械系担当)	金 子 友 海

【配置換】

創造工学科准教授(情報科学・工学系担当)	土 居 茂 雄
----------------------	---------

【復帰】

創造工学科准教授(情報科学・工学系担当)	大 橋 智 志
創造工学科准教授(総合人文科学系担当)	石 川 愛 弓

【再雇用】

創造工学科特任教授(機械系担当)	當 摩 栄 路
創造工学科特任教授(応用化学・生物系担当)	古 崎 毅
創造工学科特任教授(情報科学・工学系担当)	阿 部 司

【再雇用更新】

創造工学科特任教授(総合自然科学系担当)	山 下 徹
----------------------	-------

事務職員・技術職員

【採用】

総務課長	山 口 文 章
(北海道教育大学教育研究支援部国際課長)	
学生課教務係	服 部 弘 明

学生課学生係

技術教育支援センター技術職員

学生課学生係事務補佐員

学生課学生係事務補佐員

学生課図書係事務補佐員

学生課図書係事務補佐員

坂本ありす

石 川 勇 人

長谷部まどか

山 口 麻 美

太 田 浩 輔

田 邊 蒼 真

【復帰】

総務課課長補佐(財務担当)	小 笠 原 智 紀
(北海道教育大学事務局財務部経理課総括係長)	

【配置換】

学生課専門職員(キャリア支援担当)	吉 田 智 昭
(学生課寮務係長)	

学生課専門職員(寮務企画担当)	小 川 靖 之
(学生課専門職員(キャリア支援・留学生担当))	

学生課教務係主任	今 野 み ち る
(学生課教務係)	

学生課図書係主任	酒 井 洋 美
(学生課教務係主任)	

総務課企画調査係	箭 子 涼 太
(学生課教務係)	

総務課総務係事務補佐員	高 野 み の り
(総務課企画調査係事務補佐員)	

【再雇用更新】

技術教育支援センター嘱託職員	照 井 文 哉
技術教育支援センター嘱託職員	蘇 武 宗 治

【併任】

学生課寮務係長	石 井 孝 宏
(学生課長)	

○令和5年4月30日付

非常勤教職員

【辞職】

事務補佐員(菊田研究室)	江 田 沙 耶 子
--------------	-----------

高専通信

VOL.162 CONTENTS

1	新入生へ贈る言葉	6	卒業生・修了生へ贈る言葉	11	グローバルセミナー報告
2	在校生からのメッセージ 第1学年担任からのメッセージ	7	卒業生・修了生からの言葉	12	トピックス
3	各副校長ご挨拶	8	卒業生父母からの言葉 卒業式写真	13	進路状況
4	新任教員挨拶	9	退職教員からのご挨拶	14	教育理念・学習目標等 人事異動
5	新留学生紹介 学生会	10	学会賞・高専賞受賞者一覧 学生課よりお知らせ		

編集後記

ゴールデンウィークを終えて桜が散り始め、少しずつ苫小牧も暖かくなってきました。高専通信162号では、令和4年度末から令和5年度はじめにかけての本校の様子をお知らせいたします。

3月には本科176名、専攻科29名の学生が卒業・修了を迎えました。卒業生から在校生へのメッセージはどれも素晴らしいものばかりです。ぜひご一読ください。4月には新たに本科203名、留学生2名、専攻科生33名を迎え、新年度がスタートしています。

今年度は授業や課外活動における各種制限が緩和されるとともに、過去3年間実施できなかった学生の海外派遣事業が再開されます。学生のみなさんにとっては、これまで以上に学びの多い1年になるのではないのでしょうか。今後の高専通信での活動報告にどうぞご期待ください。

本校に関する最新情報は、ホームページやFacebookでも発信しています。そちらもぜひご覧ください。

総務主事補 石川愛弓

〔高専通信に関するお問い合わせ先〕

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係 ☎059-1275 苫小牧市字錦岡443

TEL.0144-67-0213 [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

